

特集
情報ピックアップ
タウンピックアップ
コロナ
HOTとく
市政リーダー
インフォメーション
施設情報・相談
はぐくみ
街かどリポート
まちの話題



ひょうご里山フェスタ2022 (10月30日)



森林や里山に親しんでもらおうと、ひょうご里山フェスタ2022が丹波並木道中央公園で開催されました。県内の団体が森や環境に関する展示ブースや、木工体験ブースなどを出展。参加者は木に触れ森を感じました。特設ステージでは、伐木チャンピオンシップ大会出場者によるチェーンソーの実演も行われ、研ぎ澄まされた操作技術に会場は大いに盛り上がりました。

直売所スタンプラリー開催(11月1日～)



市内10カ所の直売所では、野菜を購入してスタンプを集めて応募すると、抽選でステキな賞品が当たるスタンプラリーを令和5年1月31日まで行っています。店先には丹精込めて育てた新鮮でおいしい野菜がいっぱい。ぜひ、味わってみてください。

丹波篠山クラフトヴィレッジ(10月29日～11月3日)



工芸家の皆さんの作品を身近に感じてもらうと、王地山陶器所で「王地山クラフトマーケット」が行われ、陶芸・ガラス・木工など、こだわりの作品が数多く並びました。期間中には「オープスタジオ」も行われ、普段見ることのできない工房内が公開されました。

中西誠さんが商工会青年部の主張発表大会で全国大会に出場



このほど、神戸市で行われた「近畿ブロック商工会青年部主張発表大会」で、最優秀賞を受賞された中西誠さん(尙なかにし事務機)。11月15日・16日に熊本県で行われる「第22回商工会青年部全国大会 主張発表大会」への出場を決められました。

近畿ブロック大会に県代表として出場された中西さんは、「青年部活動に参加して」と題して発表。情報を広げ、伝える手段として、「ポッドキャスト」といわれるネットで聞けるラジオ番組「デカステーション815」を配信している丹波篠山市商工会青年部の活動を紹介し、「私は自分の得意なことを活動に生かせることができました。小さなことでも良いので、自分の好きなことやそのスキルを活動に生かそう」と主張されました。

全国6ブロックの優勝者がスピーチを行う全国大会に向けて、「ここまでの大会で自信ができました。全力を出し切りたい」と抱負を語られました。



篠山鳳鳴高等学校 キャリア教育出前講座

高校生に将来の選択肢を広げてもらおうと、市内の企業で働く人や起業した人から、その会社に就職した理由、やりがい、丹波篠山市で働く良さなどを伝える「キャリア教育出前講座」をキャリア教育に取り組む一般社団法人BEETにご協力いただき行いました。高校1年生約110人と、市内の事業所に勤務する15人(製造業、建設業、プログラマー、デザイナー、看護師、介護士、消防士、保育士など)が講師として参加。講話者ごとに分かれ、高校生は希望する3人の講話を受講しました。高校生からは、「地元で働く選択肢が増えた」「調べるだけでは分からなかったことを知ることができ参考になった」といった声があがりました。

農水省のユーチューブで黒枝豆が紹介



農林水産省の公式ユーチューブ「BUZZ MAFF (バズマフ)」に黒枝豆が取り上げられ、このほど動画が公開されました。市内黒豆畑で撮影が行われ、観光大使と、農都政策課職員がゲスト出演しました。皆さんもぜひ視聴してください。



JICAの研修生が油井宮農組を視察(10月14日)



独立行政法人国際協力機構筑波センター(JICA筑波)で稲作技術向上コースを選択する開発途上国からの研修生9人が油井宮農組(酒井和正代表)を視察。酒井代表から営農形態の説明を受けた後、組合が使用する農業機械や黒枝豆の収穫現場を見学しました。

「私の地元応援募金」の寄付(10月24日)



明治安田生命保険相互会社から、「地域の元気プロジェクト」の一環として取り組む「私の地元応援募金」で集められた募金20万7,000円をご寄付いただきました。同社からの寄付は今回で4回目、寄付金累計額は114万5,000円となりました。

市のブランドロゴマークを選定(10月20日)



市がブランドカアップを目的に公募していたロゴマークに岡田はるかさん(西宮市)がデザインした作品が選ばれ、篠山城大書院でお披露目式が行われました。岡田さんは「このロゴを通じて、丹波篠山ブランドが広がっていく力になれば」と笑顔で話されました。

ANAグループが地域貢献活動(10月16・17日)



ANAグループの社員の皆さんが、泉地区で丹波黒大豆の収穫や出荷作業を手伝われました。これは、地域貢献活動の一環として(株)小田垣商店と協同で行われたもので、泉地区営農組合の皆さんの手ほどきを受けながら、黒枝豆の刈り取りや葉落としを行われました。

ダイハツとスズキが黒大豆収穫体験(10月8日)



自動車メーカーのダイハツとスズキが、熊谷地区で畑を借り、丹波黒大豆の栽培に取り組まれています。この日は、6月にも苗の移植を体験された社員や家族の皆さんが参加され、枝切りされた株を運んだ後、枝に付くさやを手でもいできました。

兵庫県高校駅伝競走大会 西脇工業・小田伊織選手(市出身)優勝(11月6日)



兵庫県高等学校駅伝競走大会が行われ、男子40校、女子30校が出場(市内から男子では篠山鳳鳴が出場)。選手たちは大正ロマン館前をスタートし、篠山鳳鳴高等学校までの男子7区間(42.195km)、女子5区間(21.0975km)を力走しました。男子は市出身の小田伊織選手が在籍する西脇工業高等学校が2時間3分31秒の大会記録で2年連続28度目の栄冠に輝きました。6区を任された小田選手は区間タイ記録で走り抜け、全国大会出場に大きく貢献しました。また、篠山鳳鳴は、昨年の32位を大きく上回る18位でゴールしました。

県畜産共進会名誉賞に兵庫田中畜産(株)(10月27日)



但馬牛の品質などを競う第104回兵庫県畜産共進会が淡路家畜市場で行われ、肉牛の部では兵庫田中畜産(株)が最優秀にあたる名誉賞に選ばれました。2年連続で名誉賞を受賞した田中久工社長は、「今後も世界に通用する牛づくりをめざします」と笑顔で話されました。

ささやまの森公園で20周年記念式典(11月6日)



開園20周年を迎えた県立ささやまの森公園で記念式典が開かれました。式典では、公園主催事業「森の学校」に参加している児童と、里山文化を学んでいる東雲高等学校3年生による発表や、活動スタッフの皆さんが製作された河合雅雄先生の彫像が披露され、節目を祝いました。

市内在住のフルート奏者・三原萌さんが「丹波篠山ふるさと大使」に就任(11月8日)



世界的な指揮者・佐渡裕さんが率いる「兵庫芸術文化センター管弦楽団」でフルート奏者として活躍されている三原萌さんが、市内外で丹波篠山の魅力を発信する「丹波篠山ふるさと大使」に就任しました。小学6年生でフルートを始めた三原さんは、篠山鳳鳴高等学校から東京音楽大学へ進学。卒業後、オーストリアのウィーン国立音楽大学に入学し、2017年にはフリードリヒクーラウ国際フルートコンクールで1位を獲得。2019年に帰国された後は、同センターの管弦楽団に入団し、活躍されてきました。

この日は、出身校の鳳鳴高等学校で任命式が行われ、生徒たちを前に演奏を披露しました。酒井市長から委嘱状を交付された三原さんは、「とても光栄なこと。演奏を通して丹波篠山の良さを一緒にPRしていきたい」と笑顔で話されました。

掲載をご希望の場合は、お申し込みください。健康課(番594・1117)まで

なかのそら・ほまちゃん
4・1歳(乾新町)

2人の笑顔が元気の源♡これからも元気にすくすく育ちますように。



しみずかなちゃん
2歳(曾地口)

おままごととお店ごっこが大好き!いつも笑顔で周りのみんなを癒やしてくれます。これからも愛嬌満点の柑那ちゃんできてね♡



ながさわぜんちゃん
1歳(網掛)

いつもみんなに癒やしをくれてありがとう♡これからもいっぱい食べて大きくなってね!大好き!



わが家のアイドル
を紹介します

IDOL in my family